



アンベニイ

かまいし社協だより

2025.3
No.83

「アンベニイ」とは……塩梅を文字って「いいあんべに」という釜石弁を参考にした造語です。

釜石市児童館・学童育成クラブ全館交流会

◆じゃんけん列車
みんなつながって
長〜い列が
できてきた!



◆ポッチャ大会
よ〜くねらっど…
はい!スロー!



上中島児童館 小佐野学童育成クラブ 双葉学童育成クラブ 栗林児童館 鶏住居児童館 唐丹児童館

◆ 学校の枠を超えた子ども・保護者間の相互交流! ◆

令和6年11月10日(日)双葉小学校体育館にて、釜石市児童館・学童育成クラブの6施設が一同に会する全館交流会を行いました。コロナ禍で激減してしまった大勢でのイベント、学校の枠を超えて子ども達がかかわり合える場を創りたいと考えたこの企画、初の試みながら、なんと6施設100人を超えるたくさんの児童・保護者の方々が参加してくださいました。

当日子ども達は、スポ少や習い事が一緒だったり、子ども園が同じだったりなど思いがけない再会に喜び、さらに、じゃんけん列車やポッチャ大会を通してかかわりあいの輪を広げ、楽しそうに活動していました。

ご参加くださったみなさん、本当にありがとうございました。



上中島児童館の冬休み！

イベントいっぱい！
児童館の冬休みを紹介します！

もちつき大会

みんなでおもちをつきました！
杵は重いけど2人でぺったん！



自分でついたお餅。
柔らかくて
おいしい～！



お小遣いは100円！
何を買おうかな～！？

駄菓子屋さん



クリスマス読み聞かせ



ポケモンハンティング



サッカー大会



◆ 児童館はお子さんが安心して利用できる居場所を提供します

児童館は、0～18歳まで誰でも利用することができる施設です。
小学生も幼児さんも、中高生もお家の方も児童館は誰でも WELCOME！
日々の活動はもちろん季節のイベントもたくさん行っています。
みんなが安心して利用できる居場所となるように職員一同お待ちしております。
是非ご利用ください。

(開館：月～金曜日 10時～18時30分 土曜 9時～17時30分)
<上中島児童館 tel 0193-23-6175 fax0193-27-5011 >



KAMINAKASIMAJIDOUKAN

インスタも見て
ください！

子どもたちと地域の交流の場 ～ 子ども食堂 (地域食堂) ～

食を通じた子どもたちと地域住民の交流、楽しい居場所づくりを目的とした子ども食堂（地域食堂）が各地区で広がっています！令和5年に小佐野地区で始まったことを皮切りに、令和6年度は8地区全てで活動が行われました。主催団体や活動内容などは異なりますが、『想いは同じ』なのではないでしょうか。子どもたちの笑顔に私たちが元気をもらえますよね！これからも活動が継続していくよう“地域のみんで”参加・協力していきましょう！



民生委員と「男の料理教室」の皆さんで調理（鵜住居）



多くの参加者でにぎわう（小佐野）



地域サロンが子ども食堂も実施（平田）

福祉教育の推進

双葉小学校4年生の総合学習において、2学期から3学期までの継続的な関わりをしています。当会職員だけでなく多様な関係機関の皆様と共に授業をつくり、『みんなに優しいまち』というテーマの下、子どもたちと福祉の理解を深めてきました。3学期には児童主体で企画を考えて、『**一日こども民生委員**』として地域に出て活動を行う予定です！

(一例)



令和6年11月26日（火）
「福祉って何？障がって何？」
協力：釜石広域基幹相談支援センター様



令和6年12月16日（月）
「ボランティア活動と民生委員児童委員」
協力：中妻地区民生児童委員協議会様

釜石中学校3学年および釜石高等学校1学年の家庭科にてご依頼いただき出前授業を行いました！高齢社会についての学びを通じて、日々の生活にも目を向けて自分や家族・地域を大切にしたいことをお伝えしました。

釜石中学校3学年 『地域で暮らす高齢者への理解』 令和6年11月28日(木)～29日(金)
釜石高等学校1学年 『認知症サポーター養成講座』 令和7年1月14日(火)～1月27日(月)の間



みんな真剣に聴いてくれました



体験も交えて様々な気づきが！



授業中たくさんの良い反応が！

第45回釜石市社会福祉大会

令和6年11月21日(木)、第45回釜石市社会福祉大会を開催いたしました。当市における福祉の増進に寄与された15名の方へ感謝と敬意を表しました。

また、大会では福祉の心を育む事業として釜石市社協が募集した幼児福祉絵画および福祉作文コンクールの授賞式が行なわれ受賞者14名の方の表彰、福祉作文コンクール最優秀賞受賞作が朗読発表されました。

受賞された皆様また大会にあたりご協力をいただいた皆様に、お祝いと心より感謝を申し上げます。

◆ 社会福祉事業功労者 (14名)

社会福祉法人 豊心会 施設職員	菊池美和子様
社会福祉法人 豊心会 施設職員	中根加奈子様
社会福祉法人 愛恵会 訪問介護職員	栗沢悦子様
民生委員児童委員 (甲子地区)	福岡幸雄様
民生委員児童委員 (甲子地区)	佐々木美保子様
民生委員児童委員 (小佐野地区)	佐藤國治様
民生委員児童委員 (小佐野地区)	千原房子様
民生委員児童委員 (小佐野地区)	野田由美子様

民生委員児童委員 (唐丹地区)	板乗巨様
民生委員児童委員 (唐丹地区)	木村京子様
民生委員児童委員 (唐丹地区)	清水恭子様
民生委員児童委員 (唐丹地区)	清柴又伸樹様
主任児童委員 (鵜住居地区)	花輪妙子様
釜石市社会福祉協議会 介護職員	水戸ゆかり様

◆ 共同募金運動功労者 (1名)

行政連絡員 (唐丹地区)	鳥居貞一様
--------------	-------

令和6年度 幼児福祉絵画コンクール入賞者 (7名)

テーマ：「ぼくの・わたしの だいすきなひと」 (市内年長児対象 応募総数 148点)

【金賞】1作品

● だいすきなおともだちと おにごっこ

認定子ども園正福寺幼稚園

年長児 琴畑成太さん



【銀賞】2作品

● だいすきな かぞく

釜石市立上中島こども園

年長児 金野蘭々さん

● わたしの きょうだい

甲東こども園

年長児 小林楓恋さん

【銅賞】4作品

● やさしい おじいちゃん

中妻子供の家保育園

年長児 梅島涼成さん

● だいすきな おともだち

平田こども園

年長児 渡邊有宇さん

● あしがはやい おとうさん

甲東こども園

年長児 佐々木菜灯さん

● だいすきな かぞくと ともだち

鵜住居保育園

年長児 町田音和さん

釜石社協ホームページから受賞作品をご覧ください

令和6年度 福祉作文コンクール入賞者（7名）

テーマ：「福祉」（市内小中高等学校対象 応募総数 39点）

【最優秀賞】1作品	●すべての人の幸せに向けて	釜石市立釜石中学校 1年	きく 菊	ち 池	す ず	さん
【優秀賞】2作品	●みんなが幸せに	釜石市立平田小学校 4年	さ 佐	さ 木	あ い	り さん
	●ボランティア活動を通して	岩手県立釜石商工高等学校 1年	さ 坂	さ 下	め 芽	い 生
【佳作】4作品	●すべての人に福祉を	釜石市立栗林小学校 4年	ふ 藤	わ 原	ゆ 柚	な 夏
	●支え合う福祉の力	岩手県立釜石商工高等学校 1年	み 三	う 浦	は り	か 華
	●勇氣	岩手県立釜石商工高等学校 1年	き 木	かわ 川	だ し	ゆ り
	●福祉の作文	岩手県立釜石商工高等学校 1年	い 石	い 井	ゆ 悠	づ き 月

令和6年度福祉作文コンクール最優秀賞受賞作

「すべての人の幸せに向けて」

釜石市立釜石中学校 1年 きく ち 池 す ず

小学校四年生の時だったはず。今も鮮明に覚えている。知的障害を持っている子を先輩がバカにした。嫌な感じでコソコソ笑ったりもしていた。「やめなよ！」の一言が言えたら力になれたかもしれないのに。でも当時の私には難しかったのだろう。

それから考えてみた。あの子が変な目を向けられる理由。「普通じゃない。」だれかが言う。原因はこれなんだろう。

普通じゃないとダメなの？皆と違ったら悪口言われるの？おかしいと思いつつも何も出来ず中学生になった。

初めに「普通」とは何か。私が思うに世間が言う普通とは皆と同じ行動。いわば「浮かない」という事だと思ふ。辞書には「どこにでもある。あたりまえ。」とあった。

今の世界では、浮かないように、嫌われないように意見を合わせてしまう学生。ドラマでよく見る出世のためにおかしな事でも流してしまう大人の方も多いのではないだろうか。

思い返してみると私にもこんな事が結構ある。しかし、学校も会社も一人一人の個性を認め、受け入れ、尊重しなければならぬと思う。そして、団体としての結団力をみがいていく素敵な場所だと思う。

そうなるためには、「普通なんてない。そして普通じゃなくたって大丈夫。」という考えを頭の片隅にでも置くことが大切なのではないだろうか。

次に「福祉」について確認したい。そもそも福祉が何か分からない人も多いだろう。私も今回学んだ。

福祉とは、「すべての人が幸せに生活するために何が出来るかを考えて実行すること」らしい。これを知って終わりにしてしまうと四年生の私のままだ。だから、もっと深く知り、自分に出来ることを探したいと思った。

私の母は障害を持つ子の先生をしている。力を借りて「就労継続支援B型事業所」へ見学させてもらいに行こう！と決めた。

ここは、福祉作業所で障害の方々働いている。小さな部品を組み合わせたり、シールを貼ったり、地道な作業を続けている。穏やかに真剣に取り組み、時々お話しをして笑顔を見ることができた。不幸になど見えなかった。

次に一日のスケジュールについて。朝八時三十分作業所に到着。九時からお仕事スタート。休けいをはさみながら、三時三十分まで働く。お昼には給食を食べるらしい。

障害があつて、きっと辛い事が多いと予想して緊張しながら行った私はびっくりした。ここにいる人は私たち中学生とそっくりなのだ！おしゃべりして、笑って、勉強して、休んで、また働いて。私はあたたかい気持ちになった。

私には家族にも兄弟にも障害者がいない。今は直接力になれないかもしれない。でも、いつか私は障害者の方々の役に立ちたい。精神科医になって。大げさな夢かもしれないけれど、悩みをかかえている人みんなを笑顔にしたい。

「福祉。」すべての人が幸せに生活できるように行動すること。この考えが世界中に広がるまで私は目標に向けて走り続ける。

おしらせ

福祉作文コンクール 令和7年度も募集予定です(*^ ^*)

～みなさんが思う「しあわせ、うれしいきもち」作文にしてみませんか～

● ENEOS リニューアル・エナジー株式会社様よりご支援を頂きました

ENEOS リニューアル・エナジー株式会社様より、地域貢献の一環として、老人福祉センターにエアコン（壁掛・窓用各1台）を寄贈いただきました。同施設にはこれまでエアコンがなく、夏場は大変な暑さとなっていました。ご支援に感謝し大切に使用させていただきます。



● 一般社団法人生命保険協会 岩手県協会様よりご支援を頂きました

一般社団法人生命保険協会 岩手県協会様より、福祉巡回車として軽自動車1台を寄贈いただきました。頂戴した車両は本会が運営する介護保険事業所において、在宅福祉サービスのために大切に活用させていただきます。ご支援誠に有難うございました。



● 東北電力ネットワーク株式会社 釜石電力センター様よりご寄付頂きました

昨年9月に東北電力ネットワーク株式会社釜石電力センターの似内所長様と職員の方々のご来局され、食料のご寄付を頂きました。頂いた食料はレスキューフーズ（カレー、中華丼、牛丼）のほかにはサバイバルパンなど合わせて約120食分です。当会が実施している生活困窮者自立支援事業の対象者へ活用させて頂きました。



東野社協会長（写真左）に食料を手渡す似内所長様

◆ 本誌に関するお問い合わせ先

釜石市社会福祉協議会 TEL 0193-24-2511

釜石社協

検索

本誌は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております



月末になると
お金が足りない

家族がひきこもり
がちなんだけど…

やりくりしている
のに借金や滞納が
減らない

仕事を探しているけど
なかなか決まらない

困っているけど、
どこに相談したら
いいかわからない

そんな時は
くらし・しごと相談所
にご相談ください。

相談支援員がお話を伺います。
解決方法を 一緒に考えましょう。

- * 家計のやりくりができるようになってきた
- * いろいろな支援制度を知ることができた
- * 就職が決まった・通院することができた

解決への一歩を
踏み出せる可能性があります。

相談無料・秘密は守ります

くらし・しごと相談所
☎ **0193-27-8188**

■ 受付時間 午前8時30分～午後5時15分

(土日・祝祭日・年末年始を除く)

釜石市大渡町3丁目15番26号

釜石市保健福祉センター9階